

.....

うきたむ考古通信

.....

2022年4・5月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高島町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

♥令和4年度の館事業運営体制

●令和4年度の考古資料館職員体制が決まりました。館長（渋谷孝雄）、学芸員（伊藤純子、松本恵美）事務職員（菅野映子、高橋 勉）と全員が継続となりました。また、館長代理の水口 哲（高島町教育委員会文化財係長）も継続で、6名体制で4年度事業に臨むこととなりますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

♥令和4年度うきたむ考古の会役員会

令和4年4月16日(土)うきたむ考古の会の役員会を3年振りに開催しました。役員会では令和3年度の事業と決算、令和4年度の事業案と予算案についての審議が行われ、原案どおり可決され、総会に提出することが承認されました。役員会が終わってから、役員研修会がありました。重要文化的景観に選定されている長井市の町歩きを「ながい黒獅子の里案内人」の渋谷いち(伊藤学芸員の母上)さんの案内で廻りました。折しも桜が満開となった千本桜から、これも満開となった最上川河川敷の梅園、最上川舟運の宮舟場を廻って「道の駅川みなと長井」で昼食。午後からあやめ公園、総宮神社、遍照寺、賀上醤油、風間書店、丸大扇家、長沼孝三彫塑館、小桜城跡の旧西置賜郡役所、撰取院、撞木川、長井小学校を3時間掛けて廻りました。案内人の軽快で詳細な語り口、質問にも微に入り際にいる答えがあるなど、予定を上回る16時までの3時間、町歩きを堪能しました。参加された役員の方からは、次は小出の町場景観の案内もしていただきたいとの希望が出されました。



最上川河川敷の梅林



宮船場跡



総宮神社にて



馬頭観音堂



旧西置賜郡役所



国登録文化財旧長井小学校

令和4年度の館事業について

♥展 示

●常設展示

変更はありません。

●特別テーマ展

高瀬山の考古学Ⅰー旧石器時代・縄文時代」

6月11日(土)～9月4日(日)

※山形県内で最も広く発掘調査された寒河江市高瀬山遺跡の調査成果を展示します。今年度は第1回目として旧石器時代と縄文時代の出土品を展示します。期間中に、館長講座を開講し調査成果と出土品の概要について解説します。

●企画展

第30回企画展「最上地域の縄文時代」

9月10日(土)～12月4日(日)

西ノ前遺跡出土の土偶(縄文の女神)の国宝指定10周年に協賛し、最上地域の縄文時代の調査成果を展示します。展示遺物は下記の遺跡から選択します。

早期の土器——新庄市仁間磯ノ沢遺跡、福田山A遺跡、真室川町滝ノ沢山遺跡

前期の土器——新庄市福田山A遺跡、仁間磯ノ沢B遺跡、最上町水上遺跡、金山町太郎水野1遺跡、本町遺跡、真室川町滝ノ沢山遺跡、大蔵村上竹野遺跡

中期の土器——最上町水木田遺跡、かっぱ遺跡、水上遺跡、舟形町西ノ前遺跡、新庄市中川原C遺跡、立泉川遺跡、鮭川村小反遺跡、真室川町釜淵C遺跡、中台4、5遺跡、金山町太郎水野2遺跡、下中田遺跡、大蔵村上竹野遺跡
後期の土器——最上町水上遺跡、かっぱ遺跡、新庄市立泉川遺跡、戸沢村津谷遺跡、大蔵村上竹野遺跡

晩期の土器——最上町げんだい遺跡、材木遺跡、真室川町釜淵C遺跡、大蔵村上竹野遺跡

早前期の石器・石製品—これから選定

中期の土製品、石器・石製品——前葉（水木田遺跡）、中葉（中川原C遺跡）、後葉（小反遺跡）

後期の土製品、石器・石製品——水上遺跡、かっぱ遺跡

晩期の土製品、石器・石製品——材木遺跡

企画展開催中にギャラリートーク、考古学セミナー、企画展講演会などの関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行します。

●kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展

9月3日(土)～9月24日(土)

令和3年11月1日に審査結果が発表されました「第2回 kid's 考古学新聞」の入賞作品の巡回展を、昨年に続き、開催します。今回は山形県内在住児童の作品はありませんが、子ども達の勉強の成果をぜひ御覧になっていただきたいと思います。

♥自主事業

👉体験事業

1 「赤ちゃん手形をつくろう」 終了しました

4月29日(金)～5月1日(日)、5月3日(火)～5月5日(木)

目標は600個としましたが(令和元年度1,120個、令和2年度311個、令和3年度448個)、489個に留まりました。

2 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

※5月開催分は5月13日(金)から参加申し込みの予約を開始しています。

5月28日(土)・7月9日(土)・11月3日(火・祝日) 目標 70名

(令和3年度2回開催40名)

※11月3日(火・祝日)の無料開館日の振替えとして11月4日(水)を臨時休館日とします。

3 「ガラス玉をつくろう」

※6月開催分は5月17日から参加申し込みを受け付けいたします。


6月11日(土)・11月26日(土) 目標 15組(令和3年度 12組)

4 「コースターをつくろう」(簡易織機、あんぎん台使用)

6月18日(土)・12月3日(土) 目標 10名(令和3年度 8名)

- 5 「古代風ブレスレットをつくろう」
6月18日(土)・12月3日(土) 目標10名(令和3年度 9名)
- 6 「大人の自由研究1ーカラムシから繊維をとろうー」
7月16日(土) 目標5名(令和3年度 1名)
- 7 「大人の自由研究2ー塩引きをつくろうー」
12月4日、11(日) 募集各日6名 目標12名(令和3年度8名)

研修事業

 県内外の遺跡や資料館をめぐることで、遺跡や考古資料への関心・理解を深めて頂きます。

- 1 春の遺跡めぐり 5月29日(日) 南相馬市の史跡と文化財2
真野古墳群、横手廃寺跡、横手古墳群、泉官衙跡、泉廃寺跡、桜井古墳等
今回の通信と共にチラシを配布します。お早めにお申し込みください。
- 2 みる・きく・ふれる遺跡の旅 6月25日(土)～26日(日)
栃木県中南部を予定していましたが、アンケートによる希望者が少なく、中止とします。
- 3 秋の遺跡めぐり 10月16日(日) 西川町の遺跡と文化財
月山の酒蔵資料館、岩根沢三山神社、丸山薫記念館、お仲間林遺跡、弓張平遺跡群、大井沢自然博物館、大日寺跡等

考古学への関心の裾野を広げる事業を行います。

- 1 館長講座 「高瀬山の考古学」を開催します。
特別テーマ展に展示する資料と出土遺構群について7月の日曜日に2回に分けて解説・説明します。
第1回(7月3日(日))
・旧石器時代・縄文時代草創期の高瀬山遺跡
第2回(7月10日(日))
・縄文時代前期から晩期の高瀬山遺跡

企画展のテーマに沿った考古学セミナーを開講し、企画展講演会も開催する。企画展の展示資料について理解を深めて頂くことを目的とします。

- 1 第24期考古学セミナー。(講師の先生は一部交渉中です。決まり次第お知らせします)
講座のテーマ「最上地域の縄文時代」
第1回(9月25日(日))
・最上地域の縄文時代早期・前期の遺構と遺物

・最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺構と遺物

第2回(10月2日(日))

- ・最上地域の縄文時代中期後葉の遺構と遺物
- ・最上地域の縄文時代後期の遺構と遺物


第3回(10月9日(日))

- ・最上地域の縄文時代晩期の遺構と遺物
- ・縄文時代の緑色石英製玉とその分布

2 企画展講演会

11月13日(日)

演題 「最上地域の縄文時代(仮題)」山形考古学会会長 阿部 明彦 氏

 出前講座について、具体案を提示して積極的にPRし、依頼があった場合は適宜対応します。

- 1 講演会等の講師要請に対しては、館長・学芸員による出前講座を実施します。
- 2 体験学習等の講師要請に対しては、学芸員・館職員による出前講座を実施します。

♥ 各種団体との連携事業を行います

- 1 「うきたむ風土記の丘考古資料館自主事業委員会」との各種事業で連携します。
- 2 「うきたむ考古の会」と各種の事業において連携をとります。
- 3 「うきたむ学講座実行委員会」との共催事業として「うきたむ学講座」の実施を検討します(令和2・3年度は新型コロナの影響で中止しました)。
 - ① うきたむ学講座 全3回
 - ② 特別講座(川西町)
- 4 「山形考古学会」共催事業として山形の考古資料検討会を実施します。
- 5 考古学関連の講演会やシンポジウムの共催等に随時対応します。
- 6 「東北文化の日」に協賛します。

♥ 博学連携事業

● 授業・行事での利用

- 1 利用の申し出があった場合は、事前に打ち合わせの上(利用打合せ書の提出)、見学・体験学習(出前講座含む)を実施します。
 - ① 見学 館内展示、歴史公園の復元住居・古墳、周辺の遺跡等。
 - ② 体験学習 縄文服着用、火おこし、弓矢・石器・勾玉・ブレスレット・布作り。

- 2 各事業内容について適宜見直しを行い、授業や行事に取り入れやすいよう工夫します。

●夏休み中の事業

小中学生を対象とした事業を行う予定です（実施が可能な場合、夏休み前に町内の小中学校にチラシを配布します）。

1 1日体験学習「スクールオブジョウモン」

- ① 目的 様々な縄文体験を通して考古学に対する興味を持ち、自由研究等にも役立てることを目的とします。
- ② 日時 8月20日（土）
- ③ 対象 小学生 10名程度（令和3年度は開催せず）
- ④ 内容 弓矢の的当て、石器づくり見学・石器で野菜を切る、火おこし（調理）、縄文原体を生地に押しつけ土器片形クッキー（ドッキー）をつくる、館内見学。

2 自由研究相談（夏休み期間中随時）

●博物館学実習

体験や実技を通し学芸員として必要とされる知識・技術等の基礎・基本を修得することを目的に、希望する大学生を受け入れて行う。

1 期間 7月～9月の1週間

2 募集人員 5名程度

●教育目的に沿った中学・高校・大学の団体見学の受け入れ

より深い学びの場としての当館利用の促進を図る。

●その他

教育関連団体ほか、各種団体に会場を提供するなど、学校教育・社会教育関係者との情報交換を密にする

♥印刷物の発行

1. 館報 7月発行（第61号）・12月発行（第62号）。
2. 年報 令和5年3月発行
3. 企画展図録 9月発行（ポスター・チラシは8月に配布）
4. 催し物案内 令和4年3月発行済
5. 各事業案内チラシ等 随時

【7】調査相談・借用依頼対応

当館所蔵資料の借用、利用依頼に対して随時対応します。所蔵以外の資料についても、調べたり相談先を紹介したりするなどして、できる範囲で対応します。